

全銀EDIシステム(ZEDI) 対応及び今後の活用について

2019年6月14日

花王株式会社

会計財務部門 管理部長

牧野 秀生

花王の概要

商号	花王株式会社 (Kao Corporation)
本店所在地	東京都中央区日本橋茅場町 一丁目14番10号
創業	1887年6月 (明治20年)
設立	1940年5月 (昭和15年)
売上高	1兆5,080億円 (連結)
営業利益	2,077億円 (連結)
資本金	854億円
従業員数	33,664名 (連結)

2018年12月31日現在



セグメント別の連結売上高

ケミカル事業



アスファルト特殊改質剤



水性インクジェット用顔料インク

油脂製品
機能材料製品
スペシャルティケミカルズ製品

ファブリック&ホームケア事業



ファブリックケア製品
ホームケア製品

化粧品事業



化粧品

スキンケア・ヘアケア事業



スキンケア製品
ヘアケア製品

ヒューマンヘルスケア事業

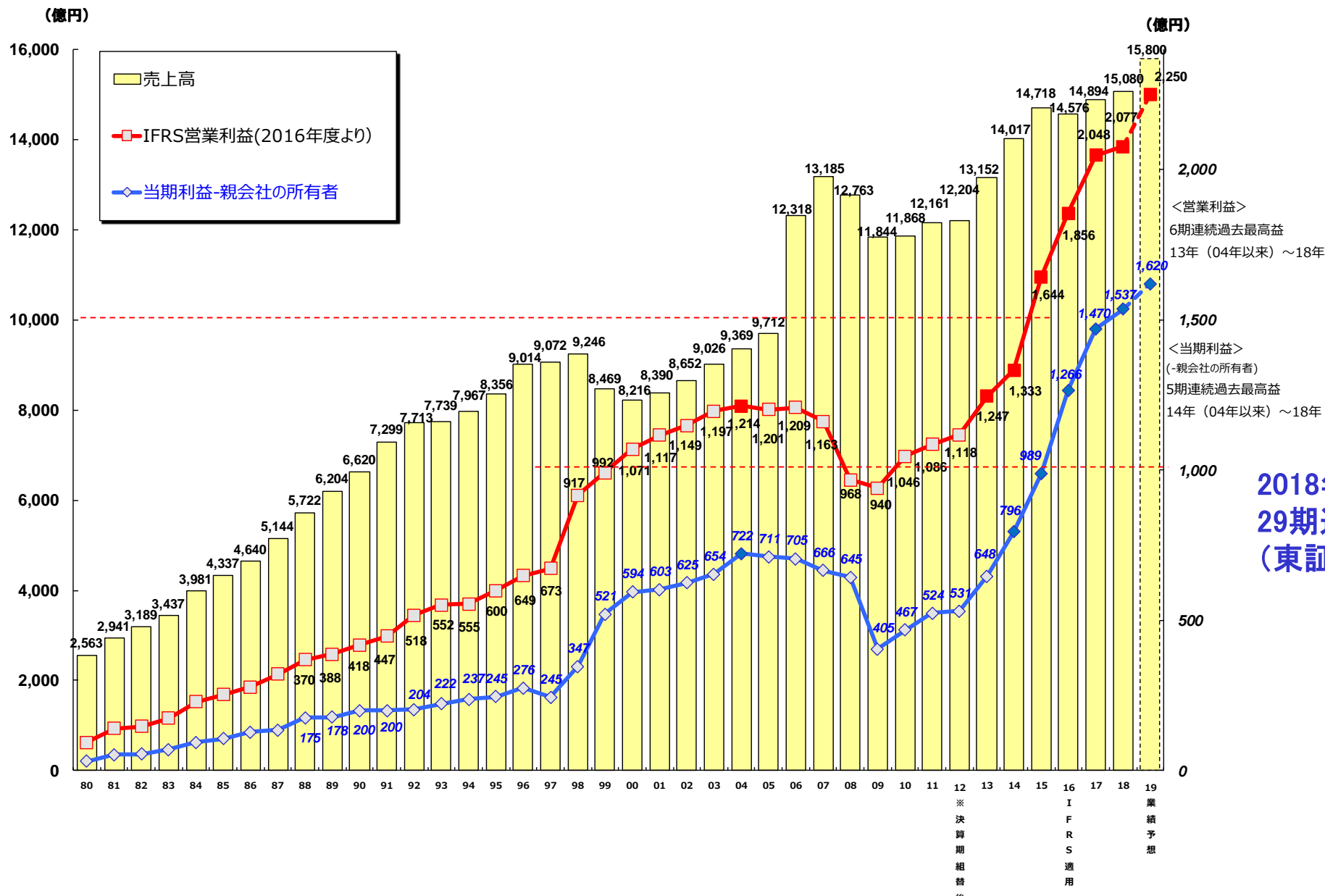


フード&ビバレッジ製品
サニタリー製品
パーソナルヘルス製品

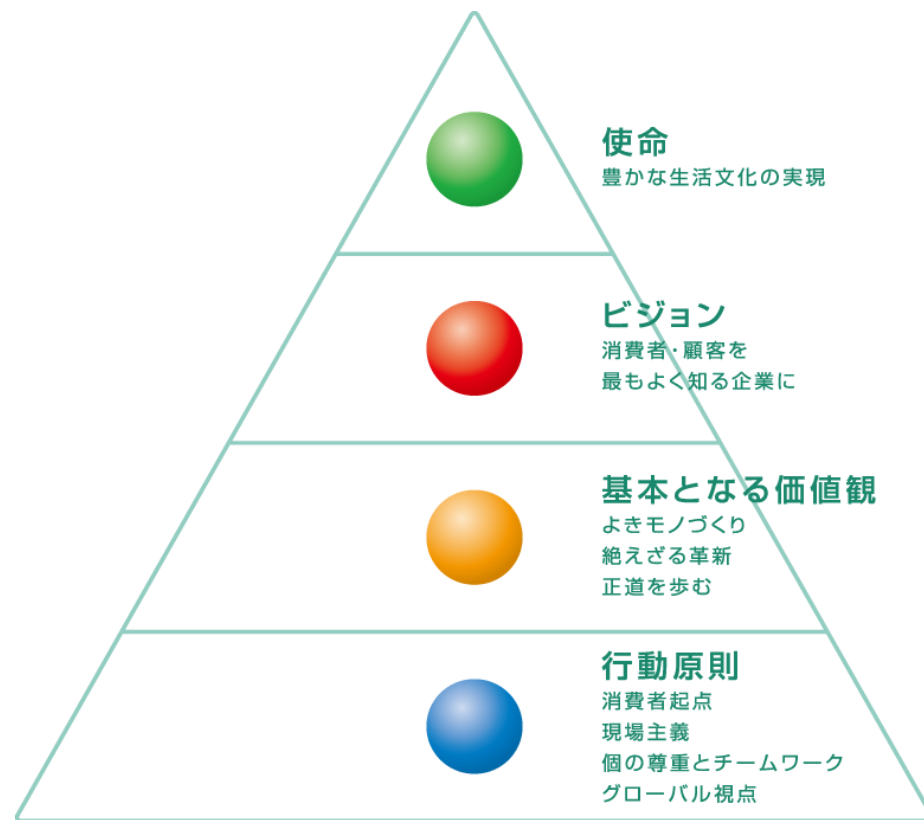


グラフの売上高構成比は、外部顧客に対する売上高で算出しています。ケミカル事業の売上高には、セグメント間の内部売上を含みます。

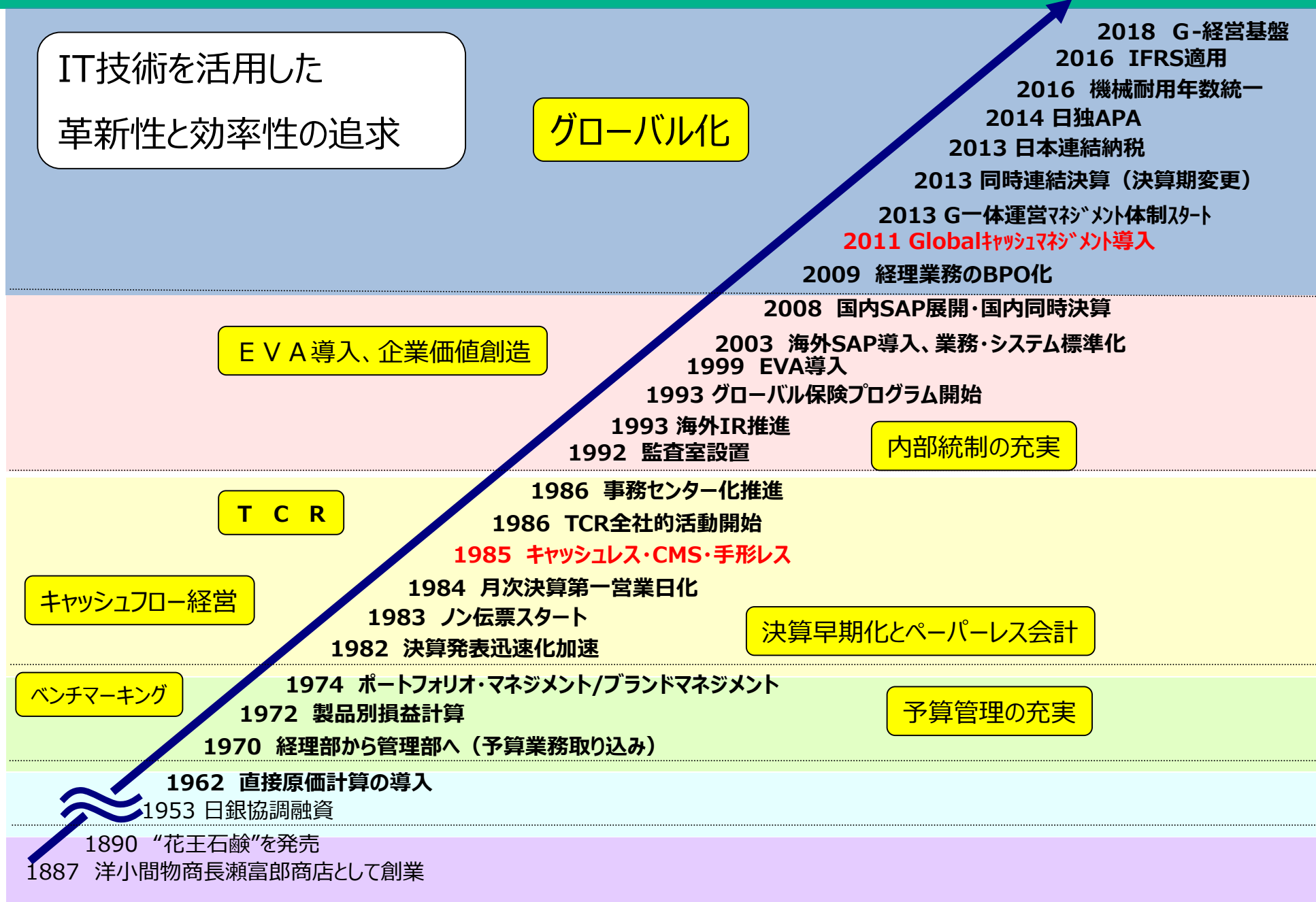
連結売上高・利益の推移



花王グループの全社員が、
「花王ウェイ」の理念を共有しています。



会計財務部門の絶えざる革新

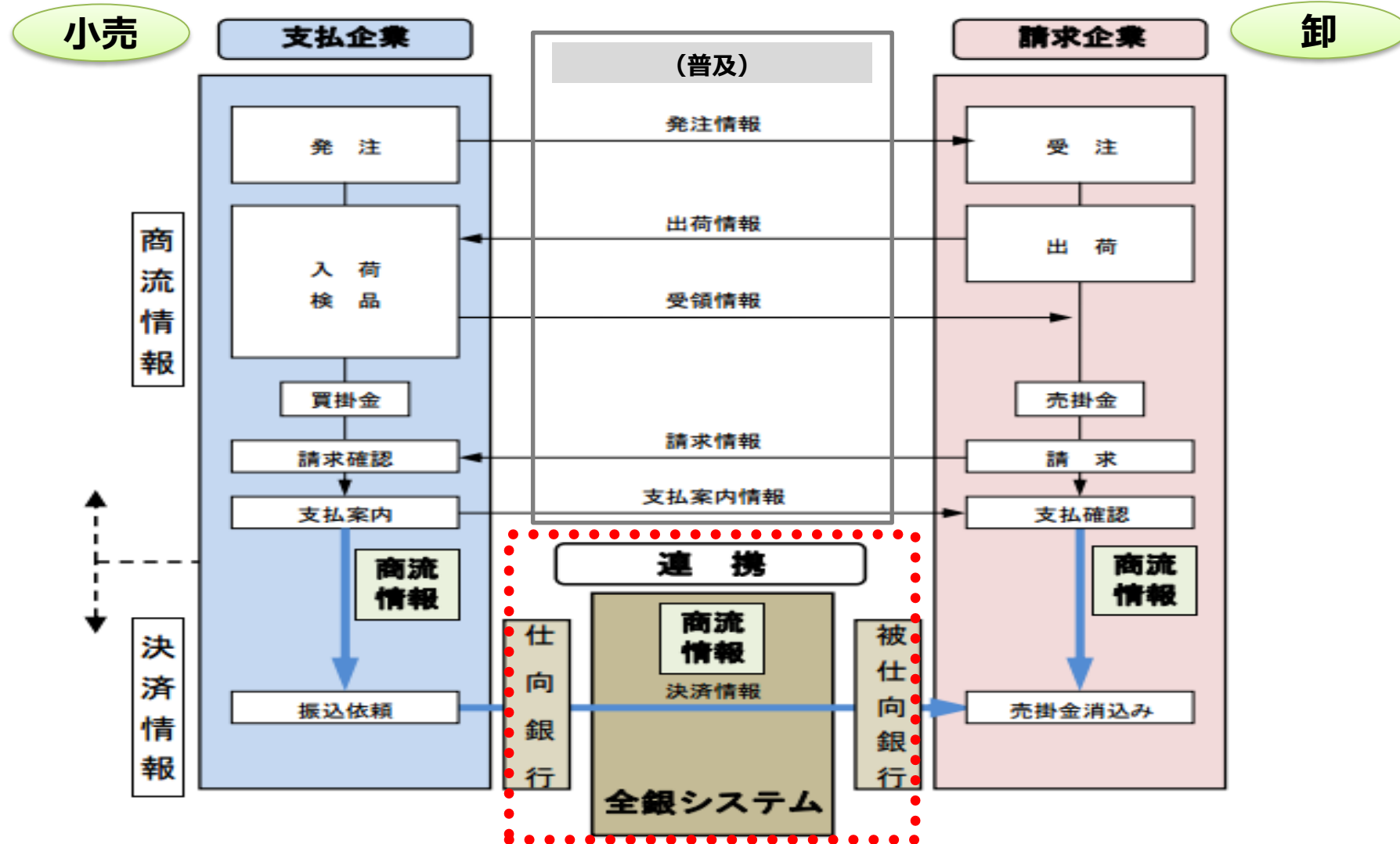


流通業界と銀行界の連携検討

商流 E D I のイメージ (流通BMS含)

E D I : **E**lectronic **D**ata **I**nterchange / 電子データ交換

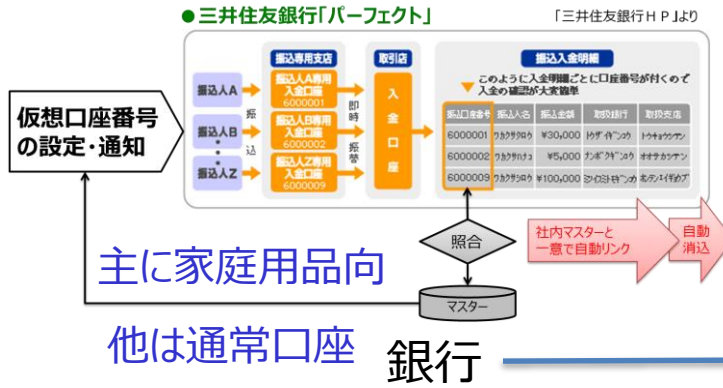
流通 B M S : **B**usiness **M**essage **S**tandards / 流通ビジネスメッセージ標準



(出所) 「企業決済高度化研究会」報告書 (2012年4月24日) より

決済・商流データのマッチングイメージ (花王の場合)

I 従来型



②従来ファームバンキングから
自動で取得

③会計向けERPに
自動または手作業で転記

決済データ

商流データ

A社からの入金	A社への販売 (売掛)
B社からの入金	B社への販売 (売掛)
C社への出金	C社からの仕入 (買掛)
従業員への出金	給与支払
現金引出	各種経費

①各ERPシステムから会計向けERPに自動転送 (各社仕様)

← 販売管理ERP

← 購買管理ERP

← 給与管理ERP

← 経費管理ERP

振込内訳通知 (自動FAX・郵送) することで個別問合せ等へ対応

お支払通知書
発行日 2014/07/22 | 頁

振込日 2014/07/15

会社 御中

発信元
花王カスタマーマーケティング (株)
〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町1-1-1
TEL: 03-6703-7576 FAX: 03-6703-7581

請求NO	取引日	振込金額	担当部門 担当者	備考
1217002236	2014/06/15			宅配便送料 (CS部門3F) 0 5587828
1217002237	2014/06/15			宅配便送料 (CS部門4・5F) 55817666
1217008068	2014/06/15			宅配便送料 (CS部門3F) 0 55454109
1217008068	2014/06/15			宅配便送料 (CS部門3F) 0 55454109
1217008069	2014/06/15			宅配便送料 (CS部門4・5F) 55999491
1217008069	2014/06/15			宅配便送料 (CS部門4・5F) 55999491
740502669	2014/06/15			研修資料搬送費として2903 54478873
740602670	2014/06/15			EC部門宅急便代 (1件分) 620 54054437
7406515273	2014/06/20			宅急便代 6202 54479110
750503662	2014/06/15			宅急便代・販売開始前6月1日 54055514

花王グループから出金する場合、支払明細郵送

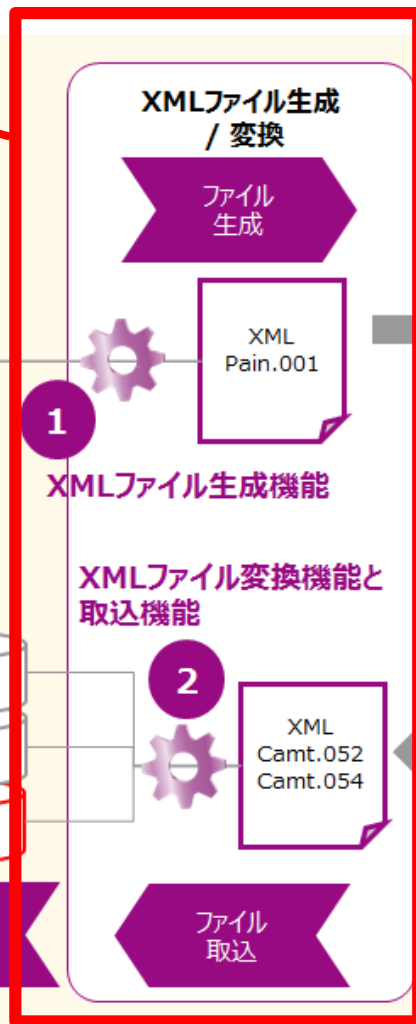
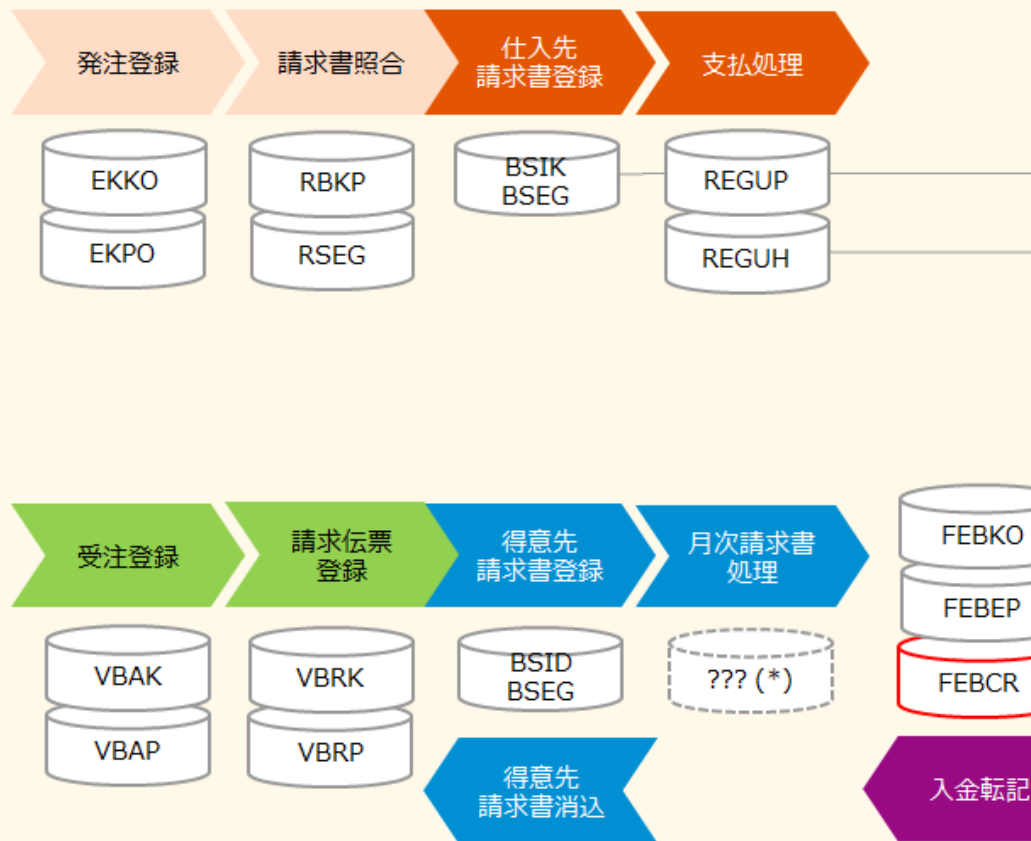
- まず、銀行口座毎の仮勘定科目で自動取得 (会計残高 = 口座残高)
- データマッチすれば、自動仕訳を転記 (消込科目の自動決定)
- データマッチしなければ、手作業で転記 (消込科目の確定、手動転記)

ERPシステムと全銀協XML新システムの概要

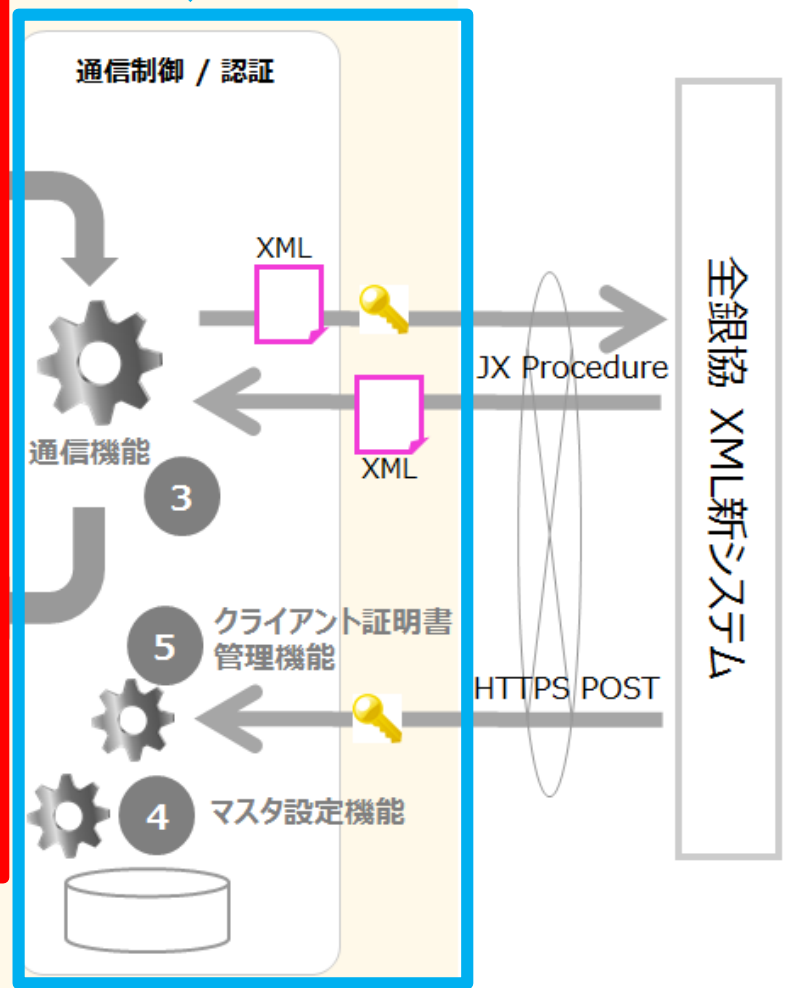
SAP提供機能適用

SAP提供Note(標準プログラム)
+Add-on開発(金融EDI部分)

企業



通信事業会社にて実施



全銀協 XML新システム

* 日本向け機能“締め請求”をお使いの場合は、ISJPINVSUMHD, ISJP_INVSUMIT があります。

出展：SAPジャパン

[参考資料] S-ZEDI 18項目について(S-ZEDI利用手引きより)

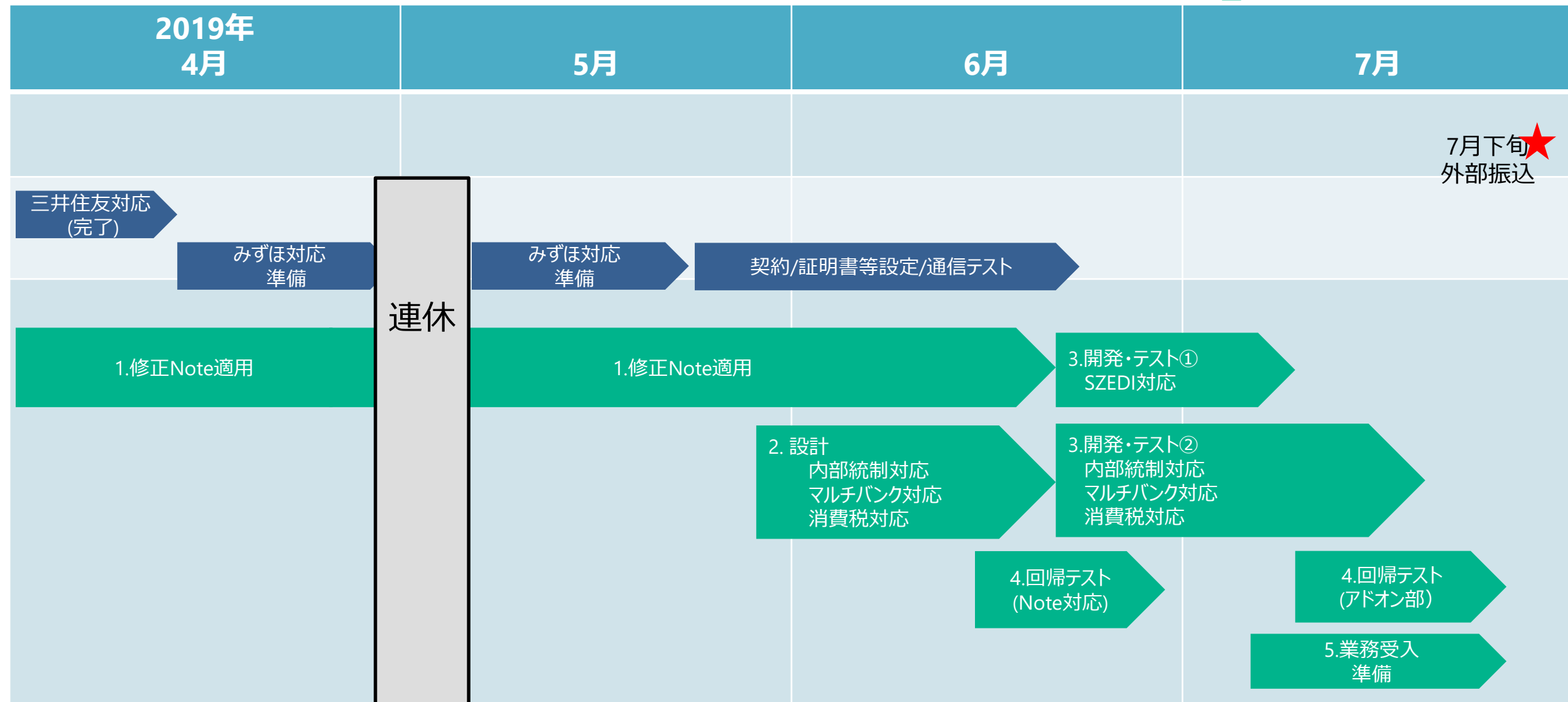
No.	項目名	概要
1	業界区分 <u>(総合運転試験においては「Z01」をご記入ください。)</u>	業界ごとの EDI 標準を判別するための区分です。全銀ネットに登録された指定のコードを入力してください。
2	データ区分 <u>(総合運転試験においては「001」をご記入ください。)</u>	業界区分ごとに、手続き内容を判別するための区分です。全銀ネットに登録された指定のコードを入力してください。
3	支払通知番号	支払通知書に付与された番号・発行日を入力してください。支払通知書がない場合は入力不要です。
4	支払通知発行日	
5	請求書番号 (入力推奨)	請求書に付与された番号を入力してください。
6	支払人企業法人コード (入力推奨)	支払人企業の法人番号を入力してください。代行会社による振込等、請求先と実際の支払人が異なる場合、実際の支払人企業 (代行会社等) の法人番号となります。
7	受取人企業法人コード	受取人企業の法人番号を入力してください。
8	請求先企業名	請求先企業 (請求書の宛先企業) の企業名・法人番号を設定してください。代行会社による振込等、請求先と実際の支払人が異なる場合、実際の支払人企業 (代行会社等) ではなく請求先企業の企業名・法人番号となります。
9	請求先企業法人コード	
10	支払金額 (明細)	請求書単位の支払金額を入力してください。金額相殺や一部支払を行う場合、実際の支払金額となります。

No.	項目名	概要
11	金額相殺理由	手数料の控除等で請求金額と支払金額に差額が発生する場合の理由を入力してください。
12	相殺金額	金額相殺理由に記載した理由において発生した、請求金額と支払金額の差額を入力してください。
13	税額 1	消費増税や軽減税率の導入に伴い、複数税率を併記する必要がある場合に利用します。 適用する税率・税額を入力してください。 例) 8%の場合 税率 1 : 8
14	税率 1	
15	税額 2	
16	税率 2	
17	税額 (合計)	税額 1、税額 2 の合計金額を入力してください。
18	備考	上記項目以外に必要な情報を任意に入力可能です。

全銀EDIシステム(ZEDI)対応スケジュール

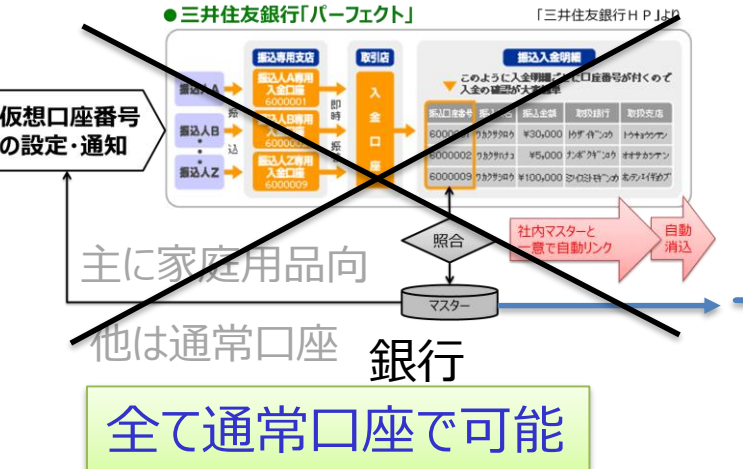
「EDI情報項目」S-ZEDIを採用し総合振込（Pain.001）に対応。

★ マイルストーン
 ■ 社外協業タスク
 ■ 社内タスク



将来的な決済・商流データのマッチングイメージと期待効果（花王の場合）

II 銀行とのAPI接続とZEDIを利用するケース



決済データ	商流データ
A社からの入金	A社への販売（売掛）
B社からの入金	B社への販売（売掛）
C社への出金	C社からの仕入（買掛）
従業員への出金	給与支払
現金引出	各種経費

①各ERPシステムから会計向けERPに自動転送（独自仕様）

- 販売管理ERP
- 購買管理ERP
- 給与管理ERP
- 経費管理ERP

お取引様がZEDIで明細取得すれば郵送不要

②APIベースのファームバンキングから決済・商流データを自動取得し、会計向けERPに自動転記

③商流データはZEDI仕様から各社仕様に変換

- まず、銀行口座毎の仮勘定科目で自動取得（会計残高 = 口座残高）
- データマッチすれば、自動仕訳を転記（消込科目の自動決定）
- データマッチしなければ、手作業で転記（消込科目の確定、手動転記）

マッチング率の向上により大幅な作業軽減

振込内訳通知（自動FAX・郵送）することで個別問合せ等へ対応

① 支払側のコスト負担軽減（初期開発費・ZEDI使用手数料）

主な業務上の**受益が入金側**であるが、情報提供する**支払側のコスト負担が大きい**。

→キャンペーン等で、一定期間振込に関しては手数料を軽減できないか

→国内会計パッケージソフトでの標準対応

② 金融EDI情報欄について

仕様公開された『S-ZEDI』以外が登録される都度、システム改修が発生する。

→業界区分だけでなく、**XMLタグの標準化・管理組織の構築などに期待**

(例えば、経済産業省・中小企業庁の格納すべき40項目 + 業界で必要XMLタグなど)

③ 金融EDI情報の第3者による利活用

社外秘データ流出の懸念

① ISDN終了問題（2024年1月「ISDN」終了）

全銀協標準通信プロトコル（TCP/IP手順・広域IP網）が設定された。
フォーマットはZEDIを拡張（給与振込等の全銀ファイルのXML化）対応
<https://www.zenginkyo.or.jp/news/2017/n8115/>

② グローバル対応（ISO20022対応）

全銀レイアウトの外国送金・外国為替取引明細などXML化対応
ZEDIとの関係・位置づけの再認識が必要。

KaO

Enriching lives, in harmony with nature.